

GTO通信

第61号
2016年 9月
発行：GTO事務局
(元気な高茶屋っ子応援隊)

長きにわたる登下校指導活動

子どもたちの安全を見守っていただいています

F1マートの南のT字路で毎朝子どもたちの安全を見守っていただいている男性(71才)がみえます。GTOでは、この方にインタビューをさせていただきました。

- Q：この場所で安全指導を始めていただいたきっかけは何ですか？
 A：平成18年頃、新しい職場にかわり、健康のため徒歩通勤を始めたところ、この場所の危なさを知り、早めに家を出て立ち始めました。
 Q：何時くらいに立っていただいているのですか？
 A：立てるときは、7時20分くらいから7時55分くらいまで立っています。
 Q：6年以上立っていただいているわけですが、その間、一番たいへんなことは何でしたか？
 A：たいへんとは思ったことはないですが、もし、自分が立っているのに、子どもが事故にまきこまれたらどうしようとそのことはいつも心配しています。
 Q：続けていただく中で、うれしいことや、やりがいというのがありますか？
 A：立ち続けることで子どもたちが心を開いてくれて、あいさつしてくれる子が増えてきたことが一番うれしいことです。
 Q：ドライバーに伝えたいことは何かありますか？
 A：子ども優先の気持ちで通ってくれているドライバーが多くなり、うれしいです。しかし、大型車の通行があるときは特にこわいです。対向するのも難しい箇所ですので、この箇所での大型車の進入を制限してもらえると助かります。
 Q：学校や地域、保護者に対して何か要望や呼びかけはありますか？
 A：保護者の方や先生方も一緒に立ってくださる日があり心強いです。特に要望というのはありませんが、非常に自動車がたくさん通る時間帯ですので、子どもたちが登校する時間帯がもう少しまとまった方が安全に横断させられる気がします。
 Q：これからも続けていただけそうですか？
 A：今、勤め先が遠くなり、日によっては立ってない時もあるのですが、身体の許す限り続けたいと思っています。
 Q：長年、子どもたちの安全を見守っていただき、本当にありがとうございます。



この方には、昨年、GTOの「元気な高茶屋あいさつ隊」にボランティア登録していただき、腕章をつけて活動していただいています。

2013年1月号インタビュー記事より



十年をこえる長きにわたり、「元気な高茶屋あいさつ隊」ボランティアとして子どもたちに「おはよう」などの声かけをし、あたたかく見守っていただきました。子どもたちからのメッセージをお渡しし、感謝状を贈呈しました。本当にありがとうございました。

校区内の環境整備活動

「空き家に子どもたちが入り込まないか、心配なのだが…」という声があった場所です。該当地区の自治会長さんが中心となり、立ち入りができないよう措置していただきました。



柵を設置していただきました。



注意喚起のため、立て札を設置してあります。

夏休み作品展 9/5, 6

2学期はじめ5日・6日に、夏休み作品展を行いました。会場の2階ホールと図書館に子どもたちの自由研究や工作などを展示し、皆さんに見ていただきました。受付をされた保護者は約140人おられ大盛況でした。



「保幼小交流」で小さい子どもたちにも作品を見てもらいました。小学生の作品に興味津々です！！

ご来場ありがとうございました。

ご協力を
お願いします

このマークのついている紙箱です。

くるりんペーパー事業とは

- ① 市の建物や小学校に置いた回収袋で、お菓子や日用品の紙箱などを集める。
- ② 集めた紙からトイレットペーパーを作る。
- ③ 市の建物や小学校で、できあがったトイレットペーパーを使う。

高茶屋小学校では、毎月第2週目の月曜日～金曜日を回収日といたします。祝日の場合はありません。回収袋は、1階昇降口(6年生のとびり)に置きます。

※注意事項※

- ・空箱は、開いて持ってきてください。
- ・ビニールや金属など、紙以外がついているときは、それを取り外してください。

【次のものは回収袋に入れないでください】

- ① カップめんのかぶり、アイスクリームのふた (※中の水がしみ出さないよう加工されているため)
- ② ポテトチップスなどの紙の筒 (※中の油がしみ出さないよう加工されているため)
- ③ ガムの包装紙、金色や銀色で印刷してあるもの
- ④ 石けんの箱など、においの付いているもの
- ⑤ 汚れているもの

金児さんから鈴虫が届きました。2階ホールに涼やかな鳴き声が響いていました♪♪♪



リン リン 癒しの鳴き声

問合せ先 GTO事務局
 高茶屋小学校内 教頭(田中)、教務(大屋)
 Tel 059-234-2615
 高茶屋小ホームページ
<http://ednet.res-edu.ed.jp/s-takadyaya/>